

## 新しい時代の高等学校教育の在り方ワーキンググループ これまでの検討概要

新しい時代の高等学校教育の在り方ワーキンググループは、7月25日に第1回会議を開催した後、これまで4回の会議を開催し検討を行ってきた。これまでに議論を行った論点は、下記2. のとおりであり、これらの論点について引き続き検討を進める予定。

### 1. 開催状況

- (1) 第1回：7月25日
  - ・新しい時代の高等学校教育の在り方について自由討議
- (2) 第2回：8月30日
  - ・検討事項1及び2に関する発表及び意見交換
- (3) 第3回：9月24日
  - ・高等学校改革に関するヒアリング  
(滋賀県立玉川高等学校、福井県立若狭高等学校)
  - ・検討事項1～3に関する意見交換
- (4) 第4回：10月15日
  - ・新学習指導要領の趣旨の実現とSTEAM教育について
  - ・高等学校改革に関するヒアリング(高知県教育委員会)

### 2. 議論の論点

検討事項1：生徒の学習意欲を喚起し能力を最大限伸ばすための普通科改革など学科の在り方について

#### ① 各高等学校の教育理念を具現化する方策

- 校長がリーダーシップを発揮し、教育理念の明確化とともに、どのような生徒を受け入れたいと考えているのか、受け入れた生徒に対しどのような資質・能力を身に付けさせて卒業させるのか、そのためにどのような特色を有する教育をどのように実施することを考えているのか等の学校経営に関する方針の在り方
- 各学校の教育理念及び学校経営に関する方針の下、教職員が一丸となって学校教育活動全体の改善に向けてPDCAサイクルを回し、社会とのつながりの中で、学校が主体的に進化する学校運営を実現する方策

#### ② 各高等学校の特色化・魅力化の実現に向けた方策

- 生徒の意欲と関心を喚起し、能力を最大限引き出すことができる各学校の特色化・魅力化の実現に向けた方策として、普通科の類型の在り方をはじめ、校長がリーダーシップを発揮し、特色・魅力ある教育を推進するための制度的な在り方
- 普通科のみならず、専門学科(職業学科及びその他の専門学科)や総合学科について、それぞれの課題等を踏まえた今後の在り方

検討事項2：地域社会や高等教育機関との協働による教育の在り方について

- 各高等学校において、生徒の多様な実態や学校や地域の特性等を踏まえ、地元の市

町村や国内外の高等教育機関、産業界、関係機関等の様々な分野における多様な主体との間で、組織的・継続的な連携・協働体制を構築するための方策

- 離島や中山間地域等の高等学校の小規模化による課題への対応、学習者の目的意識に応じた学びの発展など、生徒の実態や学習ニーズへのきめ細かな対応

### **検討事項 3：時代の変化・役割の変化に応じた定時制・通信制課程の在り方について**

- 多様な生徒が入学している実態にきめ細かく対応し、個々の生徒の状況に応じた学習活動や日々の生徒指導、教育相談、将来を見通した進路指導など、多様な生徒の学習形態や進路希望に対応した教育活動を一層推進する定時制・通信制課程の在り方
- 近年の情報通信技術の発展に鑑み、多様な生徒の多様なニーズに応えるための教育活動を推進するため、先端技術の効果的な利活用を含めたこれからの時代の通信教育の在り方